

CIM導入 基準類など見直し検討

国土交通省は、土木工 事での建設生産システム の効率化を目指す「コン ストラクション・インフ ォメーション・モデル 」の導入に 向けた検討に本腰を入れ る。同省所管法人や建設 業界団体でつくる技術検 討会が今月4日に発足し

たことを受け、8～9月
に納品などに関する現行
の基準類や制度の見直し
を議論する省内組織を立
ち上げる。11面参照

行つ予定だ。

国土交通省は、調査・測量
・設計段階からCIM
(3次元モデル)を導入
し、生産過程(管理を含
む)を効率化する取り組
みを幅広く検討。施工時
の手戻りなどを削減する
一方、施工時のデータを
モデルに順次追加するこ
とで維持管理への活用も
目指す。

国土交通省によると、CIM
の導入メリットとし
て、設計段階では構造物
の可視化による比較検討
が容易になり、設計ミス
の削減などにつながるこ
とが期待されている。さら
に設計から施工に移行す
る段階で

円滑に3次元モデルデー
タが移され、施工段階で
も効率的な施工管理や安
全管理が可能になる。施
工時のデータを順次モデ
ルに追加することで出来
高確認作業などの効率が
一段と高まり、維持管理
に活用する3次元モデル
も構築できる。3次元モ
デルを、積算や検査など
に連携させることで発注
者の業務の効率化にも役
立つという。

ただ、設計段階から3
次元モデルを本格的に導
入する場合は、モデルの
作成負担を標準的な範囲
で行う必要がある。試行工
事などを実施することで
システム構成や課題を整
理し、最終的に2～3年
後に納品などに関する現
行の基準類の見直しを行
う考えだ。

【建設ICT】

1. 日経
4. 読売
7. 産経
10. 中部経
13. 建設通
16. 建設工

2. 朝日
5. 朝日
8. 朝日
11. 朝日
14. 朝日

3. 毎日
6. 毎日
9. 毎日
12. 毎日
15. 毎日

日刊工業
日刊工業
日刊工業
日刊工業
日刊工業

日刊工業
日刊工業
日刊工業
日刊工業
日刊工業